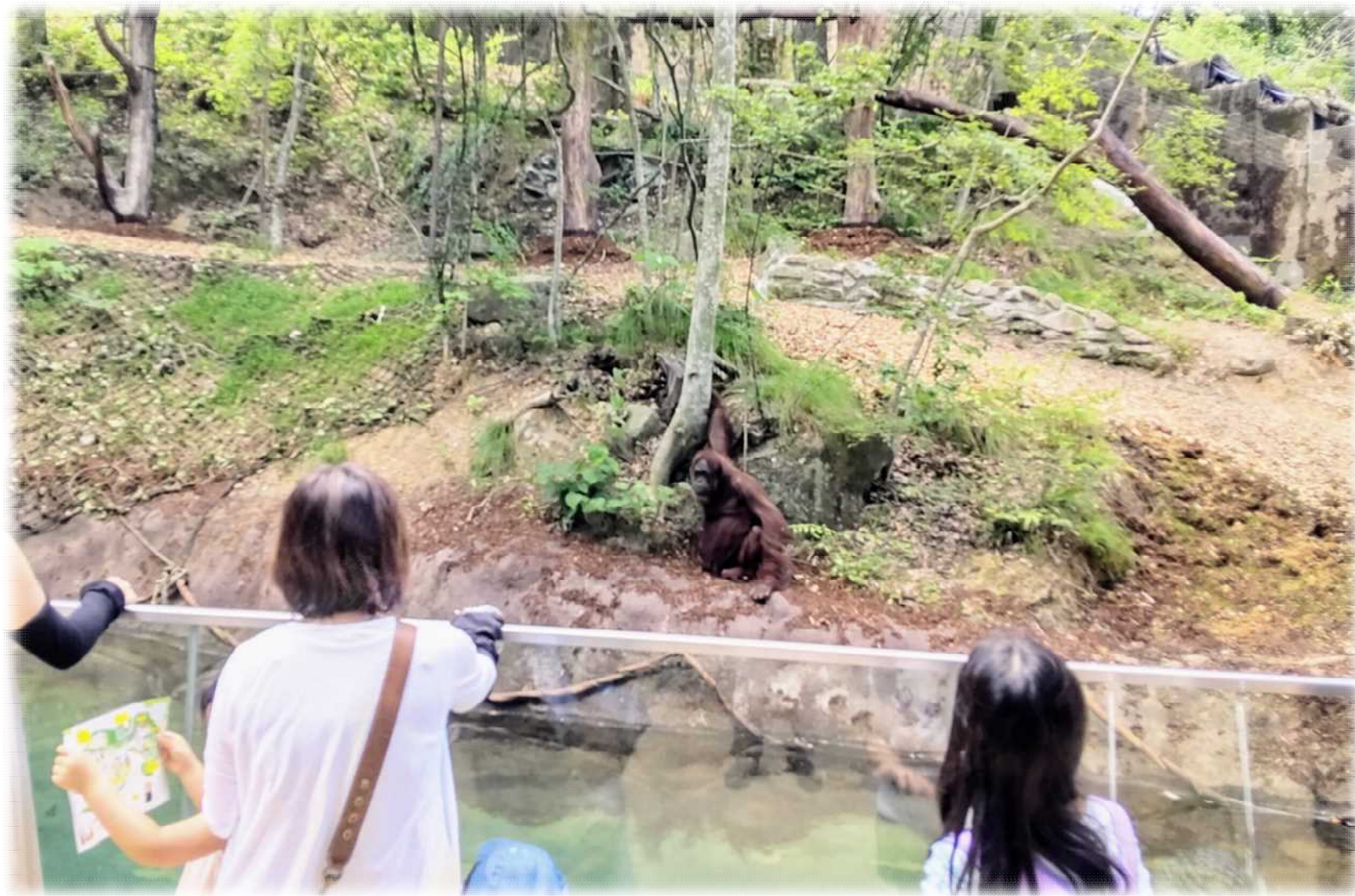


茶臼山動物園再整備事業の実施状況について

～寄附金・地方創生拠点整備交付金の活用～



■ 茶臼山動物園の概要

開園：昭和58年〔開園から38年経過〕

来園者数：年間約23万人（平成27年度）〔市内34% 県内42% 県外24%〕

■ 再整備実施経過

H21年度 「レッサーパンダの森」整備・・・約3万人増

H25年度 モノレール整備

H26年度 駐車場増設

H28年度 再整備事業見直し（老朽化対策、繁殖、活性化、財源確保等へ対応）

方針1：展示改善効果と繁殖の必要性が高い施設から順次改修する
（オランウータン → アムールトラ → ライオン）

方針2：寄附を募り施設整備費の一部に充てる

H30年度 6月 ★茶臼山動物園整備基金設立（基金条例）

8月 ★動物園サポーター（寄附者）募集開始

財源

合併特例債

新たな
財源が必要

寄附金

事業継続

■ 動物展示施設の整備手法

● 立地特性(眺望・自然環境・地形)を生かした展示を行う

- ・ 眺望を展示に取り込み高低差を逆手に利用
- ・ 自然風景と一体となった動物展示
- ・ 生息環境の再現と動物本来の行動誘発（生息環境展示）
- ・ 他園にない独自の展示



広大なすばらしい眺望



森に囲まれた自然豊かな動物園

オランウータン飼育展示施設「オランウータンの森」

平成31年3月	★ <u>地方創生拠点整備交付金事業認定[屋内展示]</u> （内閣府）
令和元年7月	工事着手
令和3年3月	施設整備完了
5月	サポーター向け内覧会開催
7月	<u>一般公開(17日)</u>



「オランウータンの森」オープン

ライオン飼育展示施設整備

令和3年3月	★ <u>地方創生拠点整備交付金事業認定[屋内展示・観覧場]</u> （内閣府）
7月	工事契約
令和4年3月	建築工事完成
令和4年度	展示場・脱出防止施設等の整備

アムールトラ飼育展示施設改修設計

令和3年度	現在の猛獣舎をアムールトラ専用に改修するための設計
-------	---------------------------

○「オランウータンの森」の詳細

5

■ 飼育展示施設配置図

雑木林を活用した「オランウータンの森」

オランウータンが自然の森で暮らし樹上で生活する姿をご覧いただけるよう、野生動物の生息環境を再現して本来の行動を引き出す「生息環境展示」による新たな展示施設を整備しました。



■ 屋外展示場



【観覧場からの眺め】

コナラやクヌギが育つ雑木林
登攀木には園内で伐採されたケヤキを再利用

■ 屋内展示施設



【森に囲まれた建屋】

【光が注ぐ展示室】
外の森と風景がつながる
内部にも常緑樹が生い茂る

■ 事業費

財源内訳	金額(千円)	備 考
寄附金(茶臼山動物園整備基金繰入金)	36,408	サポーター(個人・企業団体)からの寄附を基金に積み立て
市単独費	48,000	ふるさと“ながの”応援寄附含む
地方創生拠点整備交付金	125,000	主に屋内展示施設
合 計	209,408	うち既存動物舎改修(クマ舎・現オランウータン舎10,500千円)

※ 平成30年度～令和元年度に寄せられた寄附金を活用（個人寄附：481件 9,796千円・企業団体寄附：50件 26,212千円）

■ 地方創生拠点整備交付金

認定計画：人と動物を魅了する地域固有の自然景観を活かした茶臼山動物園展示施設再整備
集客拠点としての取り組み

- 新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上
 - * 森林景観を取り込んだ独創性のある屋内展示
 - * 屋内展示の充実による冬期来園者数の底上げ
- 地域と連携(商工・農業)
 - * 地域のイベント・観光施設・地元農産物の動物園内でのPR
- サポーターとの関係構築
 - * 本園の取り組みに賛同する「動物園サポーター」との継続的な関係構築（サポーター特典等）

KPI（重要評価指標）の設定

- ①動物園来園者数 ②観光入込客数（篠ノ井） ③動物園サポーター登録者数

○ 「オランウータンの森」 整備（ソフト事業）

7

■ サポーターイベント



開園時間外に楽しむ
サポーターだけの特別な時間



飼育スタッフの解説



工事見学会



内覧会
(完成した施設を公開)

■ 寄付者銘板



個人サポーター・企業団体サポーターの
お名前を掲載しています。
(希望をいただいた皆様)

■ サポーターの紹介



園内での事業のPR
サポーター企業の紹介

■ 地域との連携



地域イベント・特産品を
動物園内でのPR

○ オランウータン〔K P I（重要評価指標）の進捗状況〕 8

①動物園来園者数

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度
目 標	215,000	215,000	225,000	230,000
実 績		201,444	171,062	—

※基準値はH29年度実績

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令に伴い、多客期である4～5月の約2か月間が休園となったが、営業再開以降は前年同期を上回った。

【参考】入園者数（6月～3月）

R元年度 134,991人

R2年度 167,902人

②観光入込客数（篠ノ井）

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度
目 標	258,000	258,000	273,000	280,500
実 績		279,800	245,700	—

※基準値はH29年度実績

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響により、地域の観光入込客数は前年度比で約1割の減少となった。

③サポーター登録者数

	基準値	2019年度	2020年度	2021年度
目 標	210	210	230	245
実 績		228	206	—

※基準値はH30年1月時点の見込み

約2ヶ月間の休園期間中は来園者に対するPRが出来なかったものの、営業再開以降は寄附の申し込み件数が回復し、ほぼ前年度実績に近づけることができた。

2021年度は目標を達成できる見通し。

【今後の展望】

- ・自然の森を活用した展示を評価する声が多数寄せられており、さらなるPRに努め来園者の増加につなげる。
- ・SNSへの投稿や拡散も増えており、動物園ファンのネットワーク等を通じて本施設の認知度を高める。
→新施設が公開された2021年度の実績で改めて評価する。

○ ライオン・アムールトラ（施設の課題と整備の方針） 9

■ 現状と課題

<ライオン>

- ・2頭以上飼育できず、繁殖を制限している
- ・ライオンの魅力を十分に引き出せていない

<アムールトラ>

- ・絶滅危惧種に指定され、国際的な計画のもと繁殖に取り組んでいる
- ・飼育施設が不足し、繁殖した子を本園で飼育できない

■ 施設整備の方針

・動物舎の共有を解消する（ライオンを新たな施設へ移動）

- ・それぞれ4頭飼育可能な施設とし、繁殖に取り組む

<ライオン>

- ・菅平や志賀高原などの山並みを借景し、茶臼山動物園でしか見ることができない雄大な展示を行う

<アムールトラ>

- ・樹木や水を用い森林環境を再現し、森の中を動きまわる本来の生態を展示



猛獣舎

（ライオンとアムールトラが共有）



生まれた子どもたちは他の動物園へ

（飼育スペースが不足）

○ ライオン・アムールトラ（飼育展示施設の概要）

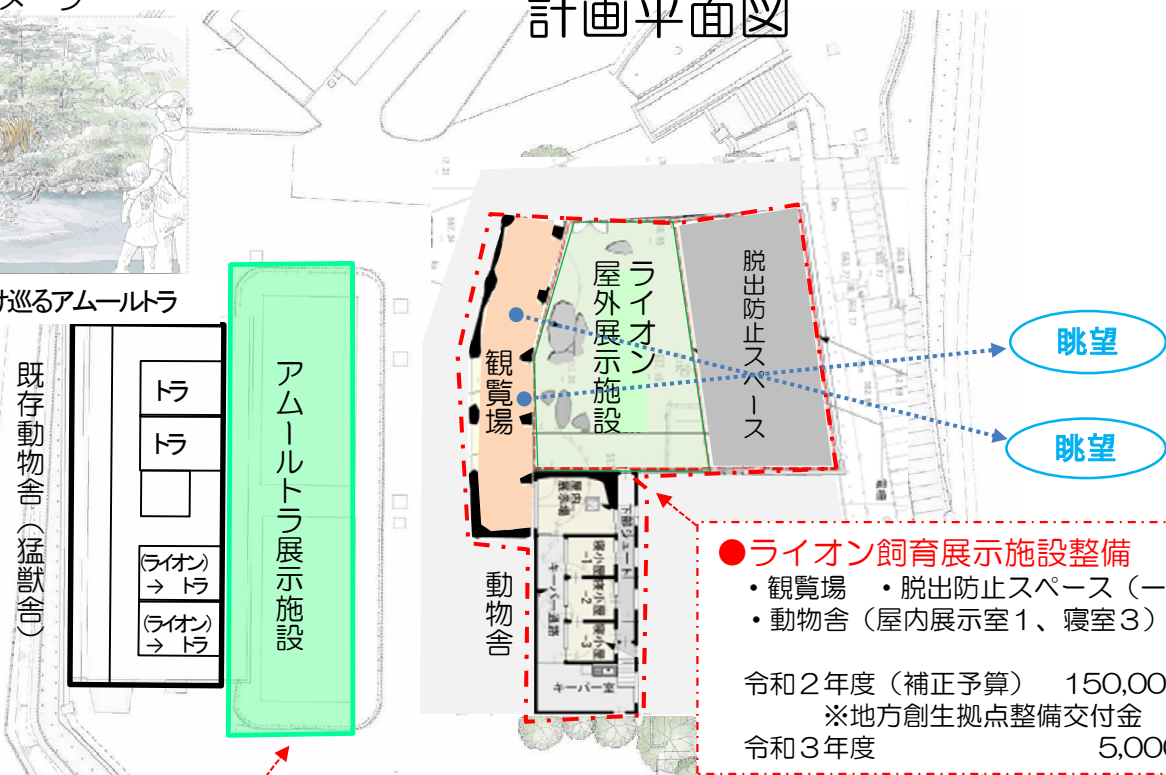
10

展示イメージ

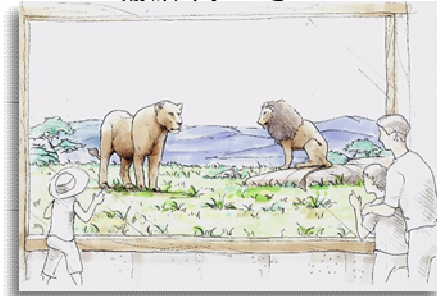


森や水辺を駆け巡るアムールトラ

計画平面図



展示イメージ



遠くの山並みを望むライオンの雄姿



茶臼山動物園からの眺望

●ライオン飼育展示施設整備

- ・観覧場
- ・脱出防止スペース（一部）
- ・動物舎（屋内展示室1、寝室3）

令和2年度（補正予算） 150,000千円

※地方創生拠点整備交付金

令和3年度 5,000千円

●アムールトラ飼育展示施設

改修実施設計

- ・アムールトラ専用化

令和3年度 5,000千円

断面図



■ ライオン

●事業費

施設整備費：180,000千円

（単位：千円）

財 源 内 訳	令和2年度(補正)	令和3年度	令和4年度以降	備 考
地方創生拠点整備交付金	150,000			
市単独費(茶臼山動物園整備基金繰入金等)		5,000	25,000	ふるさと“ながの”応援寄附含む

● 地方創生拠点整備交付金

認定計画：中山間地域の魅力を伝え暮らしを支え合う「人と自然の交流拠点」茶臼山動物園再整備事業
集客拠点としての取り組み

- ・新たな手法を取り入れた展示施設による集客力向上

- *大パノラマが広がる抜群の立地を活かし、眺望と一体化した動物展示施設を整備

- ・地域の魅力発信

- *眺望の良さなど長野の中山間地域の魅力を伝える動物展示施設

KPI（重要評価指標）の設定

①動物園有料入園者数（大人） ②動物園サポーター登録者数（市外） ③茶臼山モノレール利用者数

■ アムールトラ

●事業費

施設改修費：60,000千円(試算)

○ ライオン [K P I (重要評価指標) の設定]

12

①動物園有料入園者数(大人)

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目 標	97,200	97,200	99,600	111,700

動物園内および周辺地域での消費につながる年齢層の来訪割合を高める。

②茶臼山動物園サポーター登録者数(市外)

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目 標	122	122	132	142

交流人口増加に直接的に結びつく市外在住サポーターを増やしていく。

③茶臼山モノレール利用者数

	基準値	2021年度	2022年度	2023年度
目 標	75,100	75,100	77,600	87,600

隣接する観光施設(恐竜園)との往来を増やすことで観光施設群の相互利用促進する。

※基準値は2019年度実績をもとに設定

(参考) 茶臼山動物園整備基金への寄付の状況

(単位: 千円)

年 度	個 人		企 業		合 計	備 考
	件数	金額	件数	金額	金額	
令和2年度	206	1,900	20	3,910	5,810	
令和3年度	144	1,310	5	6,100	7,410	7月21日現在
累 計	314	3,210	25	12,010	13,220	

※引き続き寄附を募り、自主財源の確保に努める

